

土清企発第 145号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

土佐清水市長 西 村 伸一郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号にて、提出依頼のありました上記のことについて、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

提出部数 4枚

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| 様式① | ① | 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など |
| 様式② | ②-1 | 地域の現状と抱える課題 |
| 様式③ | ②-2 | 地域の目指すべき将来像 |
| 様式④ | ③ | 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等） |

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県土佐清水市

道路の必要性についてはいまさら言うをまたないところである。空港からの時間距離が3時間余りと、東京から一番遠い本市にとってはなおさらである。

産業活性化、県立病院へのアクセス。予想される南海・東南海地震対応からしても、まだまだ道路整備は不十分であり都市の論理による道路不要論には反発したい気持ち強い。

一方、国が総合的な政策を提示していないことにより、医療、介護、福祉、雇用、一次産業などあらゆる分野にわたる将来像が不透明なことから国民の不安が充満している。

道路の整備は一日でも早くと要請したいところであるが国の財政力もあり、総合的な判断となることはやむを得ないと考える。いずれにしろ、消費税問題も含めた税制、社会保障制度、雇用、一次産業対策等、総合的な政策を明らかにしていただき、その中で必要な道路は計画的に整備する方針を明確にしていきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②—1 地域の現状と抱える課題

高知県土佐清水市

○現状	○課題
本市は、将来にわたって鉄道も高速道路計画もない。農林業、水産業、観光業（年間約80万人）が基幹産業である。 産業活性化からいえば、四国循環高速道路の整備ですが、一方高知県は厳しい財政事情から道路予算が激減しており、直轄工事の負担金は万全を期すとのことで一般国道、県道の予算付けがますます厳しくなっている。 本市は国道321号線だけが動脈であり予想される大地震対策としての整備が急務である。又、地域唯一の県立病院へのアクセス道路である大規模林道が緑資源公団の廃止により県に移管替えされ、又、観光道の足摺岬公園線の整備も遅れている。	本市の現状でふれたように1つは県財政が確立し必要な道路予算が執行できるよう国の財政支援が急務と考える。 又、県立病院等へのアクセス道については地方道であっても国としても特段の配慮を要請したい。地方の意見が反映される地方分権の推進が不可欠と考える。

②—2 地域の目指すべき将来像

高知県土佐清水市

高速道路網等の整備によって、県都高知市や首都東京への時間距離は近づき、住民の利便性は高まっていくと期待しているが、道路の整備は逆にストローク現象も考えられ、商圏の都市への集中、観光圏の拡大による日帰り客の増と、宿泊客の減少なども予想され、総合的な対応策も講じる必要がある。又、県立病院へのアクセス道の整備など、一定、地域広域圏内の総合的な道路計画も必要である。

いずれにしても、足摺宇和海国立公園内にある本市としては、国道321号線のさらなる整備、足摺公園線の早期改良により、観光とさかまのまちとしての特性を最大限に活かし得る道路整備が望まれるところである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

高知県土佐清水市

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ ・ ・	・ 本市の基幹産業である観光の活性化には国道321号線整備と県道足摺岬公園線の改良が必要。 ・ 本市は現在、国の地方再生モデルプロジェクト事業として農産物加工場と水産物加工場の建設を行っている。本市の特性を活かした安全安心食品の供給基地化を目指している。 ・ 本市は国の補助制度を活用し、地方公共交通協議会を立ち上げ、本市の抜本的な公共交通のあり方を検討している。21年度からは自家用車のいらないまちづくりを目指した公共交通の整備をはかる計画である。より安全な道路整備を推進する必要がある。		